

広島県感染症発生動向月報

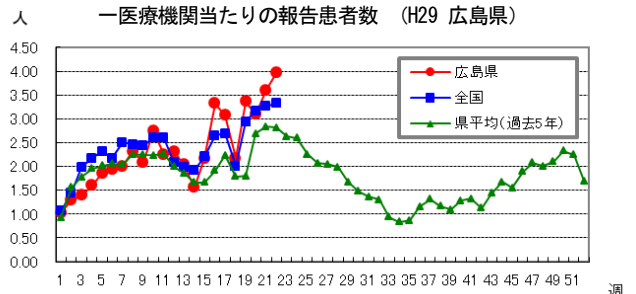
[広島県感染症予防研究調査会]
(平成 29 年 6 月解析分)

1 今月のトピックス

(1) これからの時期に注意すべき感染症 ～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎～

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、「春～初夏」及び「冬季」の2つの流行がみられ、学童期の小児に最も多く発生する感染症です。

県内では、定点医療機関からの報告患者数が、4月下旬以降、増加しており、例年の同時期よりも多くなっていますので、今後の流行に注意が必要です。



病原体	A群溶血性レンサ球菌
症状	<ul style="list-style-type: none"> 2～5日の潜伏期を経て、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛、莓状の舌等の症状が現れます。しばしば嘔吐を伴います。 熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、のどや舌、全身に発赤が広がる、「猩紅熱（しょうこうねつ）」に移行することがあります。
感染経路	接触感染、咳やくしゃみ等による飛沫感染
予防方法	<ul style="list-style-type: none"> 「手洗い」と「うがい」の励行を心がけてください。 レンサ球菌には抗菌薬が有効です。流行期には、お子さんが熱を出して、咽頭痛がある場合には、早めに医療機関を受診しましょう。



※ 詳しい情報は、次のホームページをご覧ください。

[「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは」\(国立感染症研究所疫学センター\)](#)

(2) 医療機関におけるエイズ検査事業の実施について

広島県では、H I Vの感染に不安を感じた方が、希望する時にいつでも安心して検査が受けられる体制の整備・拡充を進めており、この一環として、次の医療機関において、平日夕方及び土曜日のエイズ検査を実施しています。

医療機関名	住所	予約電話受付時間	連絡先	検査日時
おだ内科クリニック	広島市中区 鞆町 13-4	9:00～12:00, 14:00～18:00 (水・土曜日の午後, 日曜日・祝日を除く)	082-502-1051	要相談
藏本内科	広島市中区 大手町 3-13-6	9:00～12:45 (土曜日は～11:45) 15:00～18:45 (木・土曜日の午後, 日曜日・祝日を除く)	082-504-7311	要相談

【概要】 自己負担 1,000 円, 要予約, 匿名, 結果判明まで約 1 週間必要

【その他】

- 検査時に診療等が必要な場合, 別途費用が必要
- 検査結果が「陽性」又は「判定保留」の場合, 医療機関の紹介や治療の相談を実施
- 「判定保留」等の場合に実施する, 確認検査等の費用は自己負担



※ 保健所 (保健センター) 等でも検査を実施しています。

詳しい情報は、広島県のホームページをご覧ください。



広島県 エイズ 検査

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成29年5月分(平成29年5月1日～平成29年6月4日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	148	0.26	0.56	↓	11	ヘルパンギーナ	61	0.17	0.37	↗
2	RSウイルス感染症	38	0.11	0.15	↘	12	流行性耳下腺炎	162	0.45	0.57	↘
3	咽頭結膜熱	319	0.89	0.86	↗	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,166	3.24	2.48	↗	14	流行性角結膜炎	91	0.96	0.79	↗
5	感染性胃腸炎	2,195	6.10	7.68	↗	15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
6	水痘	102	0.28	0.84	↘	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
7	手足口病	867	2.41	0.41	↗	17	マイコプラズマ肺炎	9	0.09	0.21	
8	伝染性紅斑	21	0.06	0.18	↘	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.01	
9	突発性発しん	140	0.39	0.52	↘	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	22	0.21	—	→
10	百日咳	11	0.03	0.04	↑						

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成29年5月分(5月1日～5月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	55	2.39	2.43	↗	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	69	3.29	4.48	→
21	性器ヘルペスウイルス感染症	18	0.78	0.83	↘	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	7	0.33	0.82	
22	尖圭コンジローマ	9	0.39	0.68	↘	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.07	
23	淋菌感染症	16	0.70	0.98	↘						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)	
○急増疾患 百日咳	(0.01 → 0.03)
○急減疾患 インフルエンザ	(1.94 → 0.26)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

対象疾病No.	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	27	結核(27)〔西部保健所(1), 東部保健所(5), 北部保健所(1), 広島市保健所(11), 呉市保健所(2), 福山市保健所(7)〕
三類	0	発生なし
四類	22	つつが虫病(1)〔北部保健所(1)〕, 日本紅斑熱(17)〔西部保健所(1), 東部保健所(10), 広島市保健所(1), 呉市保健所(1), 福山市保健所(4)〕, レジオネラ症(4)〔広島市保健所(3), 福山市保健所(1)〕
五類全数	26	アメーバ赤痢(3)〔広島市保健所(2), 福山市保健所(1)〕, ウイルス性肝炎(E型, A型を除く)(2)〔広島市保健所(1), 福山市保健所(1)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(6)〔西部保健所(1), 西部東保健所(1), 北部保健所(1), 広島市保健所(2), 呉市保健所(1)〕, 急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(4)〔西部保健所(1), 東部保健所(1), 広島市保健所(1), 呉市保健所(1)〕, 播種性クリプトコックス症(1)〔広島市保健所(1)〕, 破傷風(1)〔福山市保健所(1)〕, 梅毒(8)〔広島市保健所(5), 呉市保健所(2), 福山市保健所(1)〕